

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1199	医療用消耗機材費	03	03	国保特別会計
基本施策	1	10万人市民の健康を維持する	02	02	医薬費
			01	01	医薬費
			02	02	医療用消耗機材費
担当部課名	青山支所 健康福祉課		101	101	医療用消耗機材費
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	01	医療用消耗機材費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	霧生診療所利用者(患者)	医療に必要な消耗品を整え、特に診療所近辺に薬局が存在しないため、診察後それぞれ薬剤を調合の上患者さんに手渡す等患者さんの利便性の向上を図る。
本年度事業内容	平成17年度支出はなかったが、医療に必要な消耗品(ガーゼ・包帯等)や患者さんへの薬を渡す袋の作成等、医療に必要な消耗品を整える。	
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)			
人件費合計(A)	0	0	0
支出内訳(千円)			
事業費(B)	0	100	100
委託料			
需用費		100	100
その他			
合計(A+B)	0	100	100
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	0	100	100
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
医療用消耗機材量	千円	0	100	100			

情勢の変化及び事業の改善点等

H17年度までは、一般管理費の消耗品で購入していたが、18年度からは薬袋を購入を計画しているが、経費節減の面から他の診療所や応急診療所等で使用の医療関係消耗品を市で一括の単価契約等について検討が必要である。

評価	達成度	4	霧生診療所には、特殊な医療器具等を配備していないが、診療に訪れた患者さんへは、薬剤の投与等を行い、簡単に薬局等にいけない地域の診療所のため、効率は少し低い、市民サービス面からは大切な事業である。
	効率性	3	